

あつま

生涯学習だより

発行 厚真町教育委員会 電話27-2495

主な記事

- ・「学習・生活・運動習慣」向上運動展開中
- ・第3回「子ども教育委員会」開催のお知らせ
- ・第55回北海道障がい者スポーツ大会開催のお知らせ
- ・学校プール利用のお知らせ
- ・5月定例教育委員会
- ・図書室だより
- ・放課後子ども教室活動紹介

速報 ノーゲームデー町内で浸透中

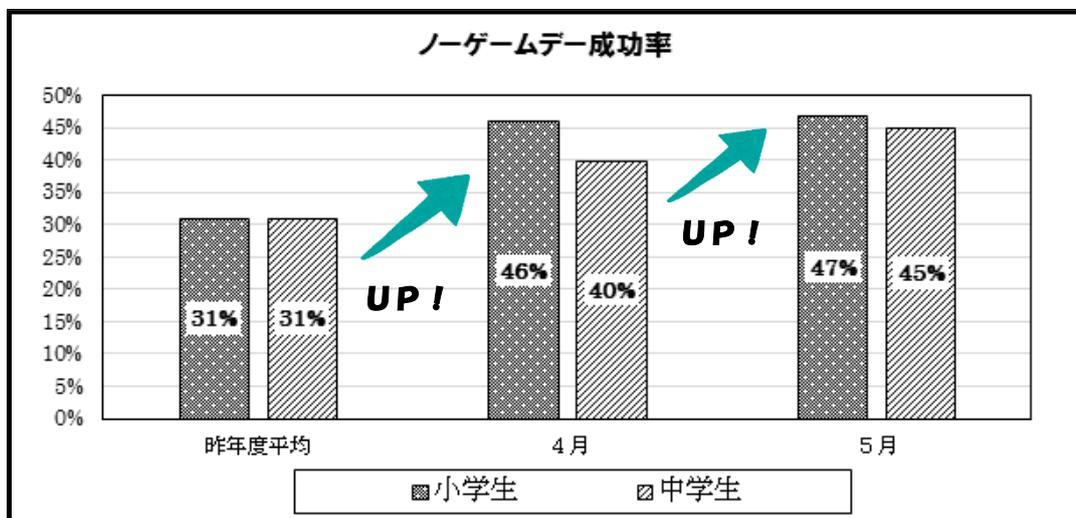
—厚真町児童生徒「学習・生活・運動習慣」向上運動展開中！—

～第1・第3日曜日はノーゲームデー～

教育委員会では、昨年に引き続き、電子ゲームから離れ、自己コントロールの力をつけ、生活習慣を見直すために、毎月、第1・第3日曜日は、電子ゲームをお休みすることを目標とする「ノーゲームデー」の取組を行っています。

5月のノーゲームデーの取組では、「ゲームをしなかった」、「ゲームの時間をへらした」児童を合わせると、小学生では、161人（全体の65%）の児童が、中学生では、76人（全体の71%）の生徒が、ノーゲームデーに意識的に取り組みました。

また、4月・5月のノーゲームデーの成功率（「ゲームをしなかった」と答えた児童生徒数の割合）は、小学生・中学生ともに昨年度平均を上回っており、各家庭での取組の成果がはっきりと表れる結果となっています。今後も引き続き、本取組へのご理解・ご協力をお願いします。



昨年度平均を超えているだけでなく、4月～5月間でも成功率が上昇しています！

第3回 厚真町「子ども教育委員会」開催

教育委員会では、厚真町「子ども教育委員会」を開催します。今年度は、昨年採択された「アウトメディア宣言」を受けたアウトメディアの取組の内容と成果、今後の方策について協議します。教育に関心のある方でしたら、どなたでも傾聴できますので、どうぞご来場ください。

- 日時 7月24日(月)午前10時から12時
- 会場 総合福祉センター 2階 青年室
- 参加者 小学校児童会役員、中学校生徒会役員

町民のスポーツ施設を利用しませんか

運動不足と思っているのに、始める一步を踏み出せずにいる方はいませんか。週1回の運動でも十分その効果はあると言われています。健康で楽しい生活を送るために、町内のスポーツ施設を有効利用しましょう。

本町のスポーツ施設を紹介します。

①厚真町スポーツセンター

いろいろなスポーツが楽しめる施設です。

バレーボール2面・バスケットボール2面・バドミントン6面・卓球12面・テニス2面・その他の室内競技に使用できます。

②あつまスタードーム

天候に左右されない全天候型多目的土間体育館です。

- (1) アリーナ (テニス3面・ゲートボール4面・フットサルなど)
- (2) トレーニング室 (ランニングマシン4台・バイク5台・その他)
- (3) 剣道場・弓道場

③パークゴルフ場 (3カ所)

それぞれに特徴があるコースです。

- (1) 新町町民広場パークゴルフ場 (36H)
- (2) 上厚真パークゴルフ場 (18H)
- (3) 本郷いこいの森パークゴルフ場 (12H)

④かしわ公園野球場

両翼90m・センター110m。夜間照明設備の野球場です。

⑤かしわ公園テニスコート

全天候型のコートが4面あるテニスコートです。

利用に関しての詳しいお問い合わせは、スポーツセンター(Tel 27-3775)までお願いします。



↑厚真町スポーツセンター・スタードーム



←新町町民広場
パークゴルフ場

上厚真
パークゴルフ場→



←本郷いこいの森
パークゴルフ場

第55回北海道障がい者スポーツ大会

東胆振管内1市4町で、道内最大規模の障がい者スポーツイベント大会「北海道障がい者スポーツ大会」が開催されます。ぜひ会場に足を運んで、選手の皆さんに大きな声援を送りましょう！

と き 7月9日【日】

開会式 午前9時(予定)
※各会場で行います

競技開始 午前10時(予定)
※会場によって異なる場合があります

【厚真町会場】

競技種目 フットベースボール

会場 あつまスタードーム
(字本郷234-6)

※他市町会場の詳細については「広報あつま6月号」をご覧ください。

5月定例教育委員会

5月25日に開催された定例教育委員会の会議内容についてお知らせします。

◆報告事項

英語教育推進委員会について、学力向上推進委員会について、厚真町いじめ問題対策連絡協議会について、放課後子ども教室開催事業の再開について、厚真町南部の発見ツアーについて(ほか3件)

◆議案

厚真町教育委員会表彰要項の一部改正について(1件)

◆教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価シートについて(1件)

◆その他

北海道市町村教育委員研修会の開催について(1件)

★問合せ

教育委員会学校教育グループ

TEL27-2494

「発掘された日本列島」展

厚真町から発掘された出土品が日本全国列島展に出品され、ただいま全国の博物館・資料館を巡っています。

本州にお出かけの際、ご都合がよろしければぜひご覧ください。

期 間 ○6月3日【土】～7月23日【日】

東京都江戸東京博物館

○8月5日【土】～9月18日【月・祝】

八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

○9月30日【土】～11月5日【日】

三重県総合博物館

○11月18日【土】～12月24日【日】

安城市歴史博物館

○平成30年1月13日【土】～2月25日【日】

壱岐市立一支国博物館

お問合せ 社会教育グループ TEL 28-2733

もしくは文化庁のHPなどをご覧ください。

学校プール利用のお知らせ

今年も次のとおり、一般の方に厚真中央小学校と上厚真小学校のプールを開放します。

お気軽にご利用ください。

期 間 7月18日【火】～9月8日【金】

ただし、8月14日【月】～16日【水】は水の入替えや水質検査のため閉鎖します。

時 間 平 日 14時～17時

土日祝日夏休み 10時～17時

(12時から13時まで昼休み)

問合せ 教育委員会学校教育グループ

TEL 27-2494

えべつやきもの市 町民見学ツアー

毎年、全国よりプロ・アマ陶芸家が江別に集い、約300店舗が出店する盛大な展示販売の陶芸市です。

他に江別セラミックアートセンターも見学する予定です。陶器・やきものに興味のある方には必見の見学ツアーです。

主 催 厚真町陶芸同好会

日 時 7月8日

午前8時20分集合

午前8時30分出發

午後5時30分厚真着 (予定)

集合場所 青少年センター前

募集定員 25名

参加費 1,500円

なお、参加人数が20名に満たない場合、参加費を1,800円とさせていただきますのでご了承ください。

申込締切 6月30日

又は定員になり次第

問合せ先 臼澤さん(29-7870、

又は、090-6210-9509)

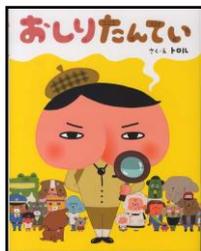
そ の 他 やきもの市到着後は集合時間まで自由行動としますので、昼食は会場内で各自でとっていただきます。

図書室だより

青少年センター図書室

TEL 27-2495 (平日)

図書室で人気の絵本を紹介します。人気がありすぎて常に貸出中になってしまい、なかなかお目にかかれない絵本もありますが、子どもに好かれているのが納得の作品ばかりです！



おしりたんてい トロル/さく

えほんコーナーにある「みつけたー」と喜んで借りていけます。パズル、迷路と謎解き要素もいっぱい詰まった厚真町一番の人気絵本シリーズです。



イチゴパフェエレベーター 石崎なおこ/さく

食べ物絵本はたくさんありますが、中でも人気なのは、この絵本です。絵本いっぱいのパフェから甘いにおいがしてきそうです。



ふくざわゆみさんのえほん

「ぎょうれつのできる」シリーズはもぐもぐやまのパン屋さんやレストランが舞台になっていますが、どれもおいしそう。画風も人気の一つと思いますが、一生懸命に頑張るところも人気なのかなと思います。



ヨシタケシンスケさんのえほん

哲学を読んでいるかのようなヨシタケさんの絵本。子どもが自分で考えることに興味を持ち始めた時にそっと差し出してみたい絵本です。



シゲタサヤカさんのえほん

イクラ、カッパ、まないた、わりばしなど変わったものが主人公になることが多いシゲタさんの絵本。いつもと違う話が読みたいと思った時におすすめ！

今年の夏休みは青少年センターに行こう

○夜間プラネタリウム投影会○

とき 7月24日(月) 午後6時30分

※晴天の場合は、引き続き天文台で観望会を実施します。

(当日は、土星・木星等を観察できます)

ところ 青少年センター

プラネタリウム室・天文台

※夜間開催のため、小・中学生のみでの参加の場合は、保護者の同伴もしくは送迎が必要です。

このコーナーへのお問い合わせは・・・
TEL 27-2495まで

○世界の昆虫展○

とき 7月22日(土)～8月15日(火)

午前9時～午後5時まで

(火・木は午後7時まで)

ところ 青少年センター2階ホール

○ホログラフィー展○

とき 7月22日(土)～8月15日(火)

午前9時～午後5時まで

(火・木は午後7時まで)

ところ 青少年センター2階ギャラリー



新着図書紹介



平成29年6月23日発行
ここで紹介した以外にも新着図書がありますので、ぜひ図書室までお越しください。

一般書

『孤道』

内田 康夫/著



この小説は新聞連載中に、著者病気のため休載となり、未完のまま本として刊行されました。そこをふまえて読んでください。そして、浅見光彦ファンの方『孤道』の続編を書くチャンス！詳細は本の帯をご覧ください。

- ・凄腕 永瀬 隼介/著
- ・組織に埋れず 高杉 良/著
- ・劇場 又吉 直樹/著

児童書

『ハムスターのすてきなお仕事』

あんびる やすこ/著



なんでも魔女商会はどんな洋服も素敵にリメイクしてくれるお店です。今回のお客様は、失敗が怖いハムスターたち。毛皮協会での初仕事、きちんとこなせるでしょうか。

- ・おたずねもの姉妹の探偵修行 1~4 巻 ラブ/著
- ・竹取物語 越水利江子/文
- ・5分後に意外な結末 1~5 巻

実用書

『ザ・パーフェクト』

土屋 健/執筆



むかわ町で発見された恐竜全身骨格化石、ご覧になりましたか。2003年の発見から14年が経っていますが、化石から岩石を取り除くクリーニング作業にはまだ時間がかかるということです。完璧な形で博物館に展示されるのが楽しみです！

- ・アウトドア&感動体験ガイド北海道 花岡 俊吾/著
- ・10歳若返るインナーの魔法！ おぬま ともこ/著
- ・稼げる農業 日経ビジネス/編

絵本

『1から100までのえほん』

たむら たいへい/作・絵



コアラさんの冒険と一緒に100までの数を数える絵本です。船に乗って、けがをして入院するコアラさんと一緒に100まで数えてみましょう。指をさしながら数えるだけでも頭の体操になりますよ。

- ・いろいろきのこ 山岡 ひかる/作
- ・このあいだになががあった？ 佐藤雅彦/作
- ・アランの歯はでっかいぞこわーいぞ ジャーヴィス/作



~図書室からのお知らせ~



■7月の休館日

17日(月) 海の日

■青少年センター図書室開館時間

午前9時~午後5時(月・水・金・土・日)
午前9時~午後7時(火・木)

■厚南会館図書室

午前9時~午後5時(月~日)
※毎月5日・20日が土日・祝日の場合は休館となります。

■7月の移動図書

- ・上厚真小学校 7、14日(金) 10:10~10:25
- ・ともいき荘 21日(金) 午後2時00分~2時30分

■絵本の読み聞かせ おはなしのびっ子

場所：青少年センター 絵本コーナー
27日(木) 午前10時30分~11時

☆放課後子ども教室☆

初夏というにはやや肌寒く、朝晩はストーブのスイッチについつい手を伸ばしてしまう6月のはじまりでした。子どもたちにとっては、学校行事のビッグイベントのひとつである運動会がありましたね。不安定なお天気に振り回されつつも、元気な子どもたちの声が響くグラウンド。様子をのぞきに行ってきましたが、全力で競技に向かい、仲間を応援し、係の仕事にも一生懸命取り組む姿がとてもすがすがしく映りました。放課後の子どもたちとは、また違った表情を見る良い機会となりました。

しばらくの間、お休みとなっていた放課後子ども教室ですが、5月22日(月)より活動が再開となりました。活動再開に際し、遊び方のルールについて、子どもたちにも考えてもらう時間をもうけました。放課後子ども教室は、子どもたち自身が自分の頭と心で考え、スタッフも含めてコミュニケーションをとりながら『みんなで、安全に、楽しく、遊ぶ場』でありたいと考えています。そうした場をつくるために必要なルールを、参加者みんなで確認しました。子どもたちも真剣に私たちスタッフの思いを受け取ってくれたようです。

5月の活動からは新1年生も加わり、全学年そろっての活動が始まりました。最初は緊張しているようでしたが、2～3年生のサポートもあり、参加回数を重ねるごとに元気の度合いが増して、のびのびと過ごしているように感じます。5月と6月前半のプログラムでは、身近にある山菜を天ぷらにしたり、ヨモギ団子にしたり春の恵みをいただく自然探検や、キックベースやユニホックなどチームワークを生かしたスポーツ、自分たちでシャボン液を使ってつくる大きなシャボン玉などのプログラムを行いました。自然探検ではヨモギの見分け方や、外遊びに出るときに気を付けたい動植物（ハチ、毛虫、ウルシ）の注意点を確認。毎年行っている活動なので、昨年の内容を覚えている子が初めて話を聞く子にいろいろと教えてあげる姿も見られました。昨年の活動で好評だったシャボン玉づくりは、今年も大人気でした。自分の顔よりも大きなシャボン玉が空へのぼっていく様子を見て「すごーい！」と歓声が上がります。泡だらけになりながら、たくさんのシャボン玉を上手につくることができました。



5月28日(日)に今年度1回目の放課後特別教室『あつまっ子ふるさと体験教室』を開催しました。あつまっ子ふるさと体験教室では、人・産業・自然・文化など厚真町の地域資源と子どもたちを体験的に結ぶ活動を行っています。今年度最初の活動は田植え体験。約1aほどの水田をお借りし、生産者の方に直接、指導を受けながら田植えに挑戦しました。初めて田んぼに入る子は泥の感覚に慣れるまで苦勞をしていたようです。これまでに田植え体験をしたことのある子は、田んぼの中の移動もスムーズに、即戦力として活躍していました。どうかスクスクと育ち、おいしいお米になりますように、と願うばかりです。

